

学校法人開陽舎 認定こども園陽の丘幼稚園

園児数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
243名 (保育園籍:42名)	<input type="checkbox"/> 遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫 <input type="checkbox"/> 多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫 <input type="checkbox"/> 季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成 <input type="checkbox"/> 体づくりに関する家庭との連携 <input type="checkbox"/> 教職員の資質向上のための取組

1 ねらい

- ・コロナウィルスの感染対策の緩和を受けて、昨年度までは制限が多く、活動の幅が狭まっていましたが、今年度はコロナ渦前の保育に戻すことに加えて、新しい活動の機会を増やす。

2 実施内容

<遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫>

- ・外遊びの時間を増やして、園庭で沢山体を動かして遊んでいます。
- ・砂場遊びでは新しい砂場道具を用意し、大きなシャベルを使って力いっぱい穴掘りや山を作っています。

<多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫>

- ・園庭は3つのエリアに分かれており、大きな庭では中央に十分なスペースを確保し、周囲の遊具を組み合わせながら鬼ごっこを楽しんだり、遊具や砂場で遊んだりしています。
東側の園庭では、バスケットゴールでボール入れや3輪車に乗りながら遊ぶことができます。
南側の園庭には、大型のすべり台だけでなく、砂場やヤギ小屋もあり、それぞれの庭で特色ある遊びを楽しんでいます。

<季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成>

- ・夏にはプール活動を行い、秋は運動会の練習をすることで子ども達から自発的にかけっこやリレー遊びを行っています。冬の時期には縄跳びや長縄をしながら体を動かしています。

<体づくりに関する家庭との連携>

- ・父の日の保育参観では親子体操を取り入れて、多くのお父さん達に参加をいただき子ども達と一緒にふれあいながら体を動かしてもらいました。

<教職員の資質向上のための取組>

- ・普段の体育的な活動の時間には、マットやとび箱などの補助を体育指導の先生だけでなく、担任の先生たちにも行ってもらい、子供たちへの指導と補助方法を共有・習得しています。
- ・毎年運動会では新しい競技やダンスを学年の先生同士で相談しながら決めています。

3 主な成果 (箇条書きで簡潔にまとめる。)

☆外遊びの時間では、子ども達が自発的に考えた遊びが現れるようになりました。

(例：帽子をバトンにしてのリレー、鉄棒でのぶら下がり方やまわり方を教え合う)

☆遊具や三輪車では、子ども達同士でルールを決めたり順番を守ることが出来るようになりました。

☆今年はプールの活動を増やすことができ、子供たちは水に慣れる機会が増え、潜ることや顔を水につけることができる子供が増えました。

☆保育参観の際に、親子体操を行う機会を設け、子供たちとのふれあいや運動遊びの楽しさと重要性を保護者に伝えることができました。

☆年長児が運動会で組体操を披露するために練習に取り組んだ結果、子供たちの体幹や筋力が向上し、他の学年の園児たちもその真似をする姿が見られるようになりました。

☆運動会の時期になると、子供たちは楽しそうに集まり、競技やダンスの練習を歌いながら行う姿が多く見られます。

4 資料

①・②順番や「貸して」の声をかけ合い三輪車やバスケットゴールにボールを入れて遊ぶ年少児。

③砂場で自由に遊ぶ園児達 ④保育参観での親子体操（年中児） ⑤運動会での年長児の組体操

①



②



③



④



⑤

